

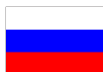
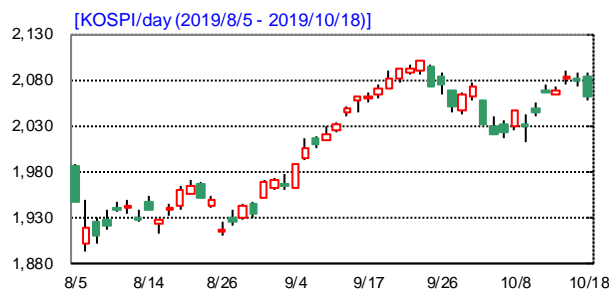


【韓国】 総合指数は 0.8%高と続伸、米中協議の部分合意を好感

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 0.8%高と続伸。前週末に米中が通商協議で部分合意したことを好感し、リスク選好が高まった。週明け 14 日は時価総額最大のサムスン電子が 2018 年 6 月以来の高値を付けるなどけん引。15-16 日も米中対立の緩和への期待感や米株高から指数は続伸し、16 日は 2082.83 ポイントと約 3 週間ぶりの高値で引けた。ただ 17 日は中国の米国産農産物輸入を巡る先行き不透明感から前日の米株式市場が下落し、利益確定売りが優勢の展開。18 日は中国の第 3 四半期 GDP 伸び率が統計開始以来の最低となり投資家心理を冷やしたほか、英国の EU 離脱案の先行きが見通せず、持ち高調整の売りが出た。今週も米中情勢をにらみつつの神経質な展開か。22 日に 9 月の PPI、24 日に第 3 四半期 GDP 成長率が発表される。

▼指数チャート

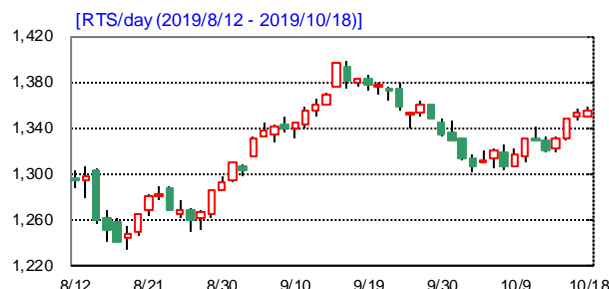


【ロシア】 RTS 指数は 1.9%高と続伸、今週は原油相場の反発期待で堅調か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 1.9%高と続伸。国内の鉄鋼需要が増加するとの観測や通貨ルーブルの上昇が好感された。週明け 14 日は米中通商協議の部分的合意について不透明感が広がったほか、原油安を受けて資源株が下落し、指数は前営業日比 0.6%安。しかし、その後は原油相場が下げ止まったほか、国内の鉄鋼需要が拡大するとの観測やルーブル高、好決算を受けた米国株高、英国の「合意なき EU 離脱」回避の見通しもリスク選好を強めた。指数は 18 日まで 4 日続伸し、1355.27 ドルと 9 月 26 日以来の高値で週の取引を終えた。個別銘柄ではエネルギーのルクオイル (5.4%高)、ロスネフチ (0.8%高) や、金融のズベルバンク (2.3%高) が指数を押し上げた。今週は原油価格の反発を期待した買いが相場を押し上げる展開か。

▼指数チャート

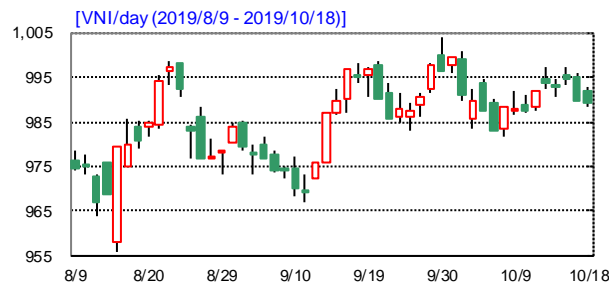


【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 0.3%安と反落、今週は神経質な値動きか

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 0.3%安と反落。米中貿易協議に対する楽観的な見方の後退や中国の GDP 成長率の鈍化が嫌気された。週明け 14 日は米中貿易協議を巡る楽観姿勢を追い風に多くの東南アジア市場が上昇する中、VN 指数も 0.2%高と小幅に上昇。その後も好決算を受けた米国株高や英国の EU 離脱交渉に対する期待感を背景に底堅く推移した。ただ、週後半は米中貿易問題の先行き不透明感に加え、統計開始以来最低の伸びを記録した中国の第 3 四半期 GDP が投資家心理を悪化させ、消費株や不動産株などが売られた。個別銘柄ではサイゴンビール・アルコール飲料 (2.2%安)、ビンホームズ (1.6%安)、ビングループ (0.8%安) などの下落が指数の重しとなった。今週は米中通商協議の行方をにらんだ神経質な展開か。

▼指数チャート

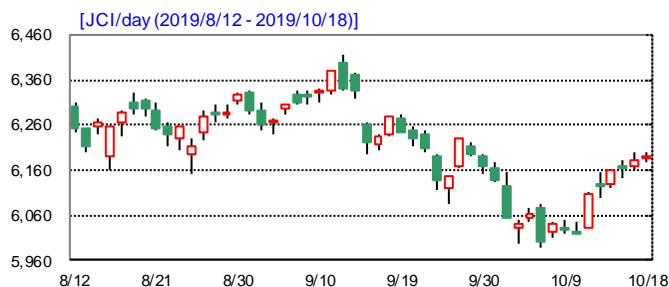


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.4%高、今週は中央銀行が金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は週間で 1.4%高と続伸。前週末から 6 営業日続伸と堅調な値動きだった。週初の 14 日は、前週末の NY ダウが米中貿易協議の進展を背景に上昇した流れを引き継ぎ続伸。15 日は 9 月の輸入額が市場予想を上回り、貿易収支が 2 カ月ぶりに赤字に転落したものの影響は軽微で、素材と消費関連株を中心に買い優勢の展開が続いた。その後もじりじりと上値を広げ、18 日には場中に一時、節目の 6200 ポイントに到達し、終値ベースでも 3 週間ぶりの高値を更新して取引を終えた。今週は 24 日に中央銀行が定例会合を開催する予定で、前回まで 3 会合連続で引き下げられた政策金利の動向が焦点。

▼指数チャート

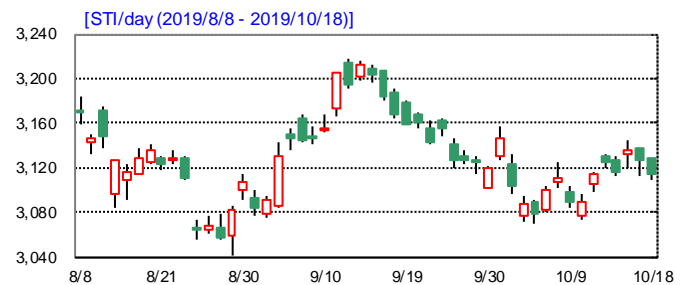


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 0.01%高、7-9 月期の GDP 速報値は前年同期比 0.1%増

スレーツタイムズ指数は週間で 0.01%高と横ばい。週後半の続落で上げ幅が縮んだ。14 日は 7-9 月期の GDP 速報値が市場予想の前年同期比 0.2%増を下回る 0.1%増にとどまったものの、当局が 3 年ぶりに金融政策を緩和した効果で指数は続伸。15 日に反落した後、16 日は終値で 2 週間ぶりの高値を更新したが、17 日は 9 月の非石油地場輸出が前年同月比 8.1%減と 7 カ月連続で前年割れした影響で反落すると、18 日は中国の景気減速が嫌気され、続落して引けた。今週は 23 日に 9 月の CPI、25 日に鉱工業生産が発表される予定。鉱工業生産が 5 カ月ぶりに前年の水準を上回れば株式相場の支援材料になる。

▼指数チャート

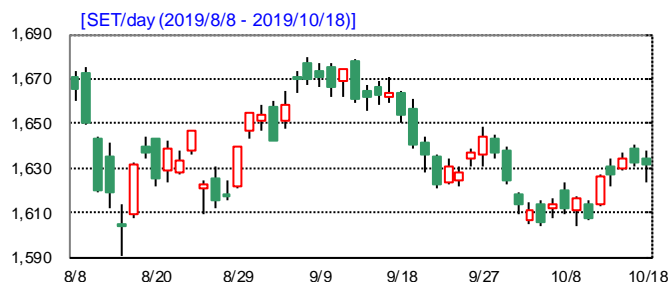


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.3%高、今週は 9 月の貿易統計(通関ベース)が焦点

SET 指数は 4 日間の取引で 0.3%高と続伸。週後半の下落が上昇幅を縮めた。連休明けの 15 日は、小幅続伸してスタート。16 日は前日の NY ダウが主要企業の好決算を受けて反発した上、英国の EU 離脱交渉の進展も追い風となり上値を広げた。ただ、その後は軟調で 17 日にエネルギー株が売られて 4 営業日ぶりに反落すると、18 日は中国の 7-9 月期の GDP が前年同期比 6.0%増と統計開始以来で最低の伸び率となった影響で続落して取引を終えている。今週は 22 日に 9 月の貿易統計(通関ベース)が発表される予定で、輸出が前年の水準を上回れば好材料。23 日はチュラロンコーン大王記念日で休場となる。

▼指数チャート

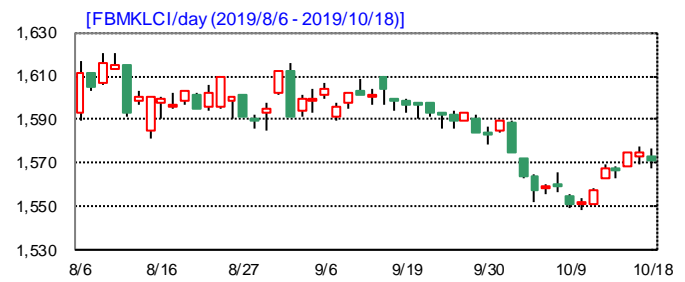


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.9%高、来年度予算案の開発費増額を好感

クアラルンプール総合指数は週間で 0.9%高と 7 週ぶりに反発。国内の重要イベントが少ない中、おおむね堅調に推移した。週初の 14 日は、前週末に発表された来年度政府予算案に前年の規模を上回る開発費が盛り込まれたことが好感され、指数は 3 営業日続伸。15 日は利益確定売りで反落した一方、16 日は英国の EU からの合意なき離脱が回避されるとの見方が広がり反発した。ただ、17 日に小幅反落すると、18 日は中国の GDP 成長率が市場予想から下振れた影響で続落している。今週は 23 日に 9 月の CPI が発表される予定。外部要因では 24 日に開催される欧州中央銀行 (ECB) 理事会の内容が意識されそうだ。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。